# 第 55 回 夏期

# ウィーンナー ムジーク セミナー

## ウィーン国立音楽大学

# Wiener Musikseminar

# 要　項



TIAA

# 東京国際芸術協会

**<実施概要>**

Wiener Musikseminar は今年で 55 年目を迎えました。オーストリア大統領ファン・デア・ベレン氏の支援のもと、ウィーン国立音楽大学で講習会を開催いたします。毎年およそ 30 ヶ国から 300 人以上の受講者の参加があります。ヨーロッパ、アメリカ各地の音楽大学とウィーン国立音楽大学の教授を中心とした教授達が個人レッスンを行います。言葉が不安な方は日本語通訳をつけることも可能です。

**<開催地>**

# ウィーン国立音楽大学

**<講習会開催期間日程・受講対象楽器>**

**第1ブロック：2025年8月6日（水）～8月15日（金）**

【ピアノ科】エレーヌ・バーガー、ミラン・フラネック
ジェニー・スンジン・キム、ジョセッペ・マリオッティ
トーマス・クロイツベルガー、レイモンド・ヤン
【声 楽 科】ソーナ・ガツァリアン、ビョン・スンウク
アンヌ・マリー・コンダセ
ルシオ・キュ-ヘー・チョ、ジェフィ・ラン
ヴィクトリア・ルキアネッツ
【ヴァイオリン科】ピーター・シューマイヤー
【ヴィオラ科】ヴォルフガング・クロス
【チェロ科】クラウディア・ザラガー
【フルート科】バーバラ・ギーズラー・ハーゼ
【クラリネット科】クルト・シュミット
【室内音楽科】ヴォルフガング・クロス

**第2ブロック：2025年8月18日（月）～8月27日（水）**

【ピアノ科】マニュエル・アラウージョ、フランチェスカ・リー
ベルンハルト・パルツ、
ゾントラウド・シュパイデル
ヴォルフガング・ヴァッツィンガー
エリツベタ・ヴィドナー・ツァヤック
【声 楽 科】ヘルミーネ・ハーゼルベック
リディア・ラートコルプ
【声楽と舞台解釈】ヴォルフガング・ドッシュ
【ヴァイオリン科】アレキサンダー・アレンコフ
【フルート科】アンドレア・ワイルド
【クラリネット科】クルト・フランツ・シュミット

※参加ブロックの選択が可能です。教授の指名は先着順となり、定員に達している場合は他の教授のクラスに振り替えられることがあります。

※声楽教授は教授の声域に関係なく、全ての声域のレッスンができます。

※“英語レッスンのみ”と記載された教授は弊会で通訳手配を承ることができかねますのでご注意ください。

**第3ブロック：2025年9月1日（月）～9月5日（金）**

【ピアノ科】ウラディーミル・カリン
ヤスミンカ・スタンチュル
【声 楽 科】ラルフ・ドューリング
ブリギッテ・ストラディオート
【ヴァイオリン科】エフゲニー・チェヴケノフ
アンナ・グトヴスカ
【チェロ科】アンツェル・ゲルバー
【フルート科】ティン-ウェイ・チェン、
フェレシュテフ・ラハバリ
【クラリネット科】クルト・シュミット

**第4ブロック：2025年9月8日（月）～9月17日（水）**

【ピアノ科】アレキサンダー・ロスラー、ヨハネス・クロプフィッチ
クラウス・シュティク
【声 楽 科】ソルヤーナ・クシュプラー
バルバラ・ズバノヴィッチ・バラノフスカ
【ヴァイオリン科】エリザベス・・クロプフィッチ
エドワード・ツィエンコフスキー
【フルート科】エルヴィン・クラムバウアー
【クラリネット科】クルト・フランツ・シュミット

**オーケストラ指揮：2025年8月5日（火）～8月8日（金）**

【指 揮 科】サミュエル・クーフィニャル

## <レッスン内容>

基本的には 60 分レッスンを4回受講となります。教授により、240 分を4回以上に分割する場合もあります。レッスン曲は 3 曲程度用意してください。レッスンは自由曲ですが、時代の異なる曲を準備することで多面的な指導を受けられる機会となります。

大学の開学時間(レッスン時間帯)は月曜日から木曜日は 9 時から 17 時まで。金曜は 16 時半までとなります。土日のレッスンは基本的にはありませんが、参加者の人数により土日・予定時間以外にもレッスンを行う場合があります。

※初日にレッスンスケジュールおよび練習室の確認、イベント案内等のオリエンテーションを大学内にて予定しています。

## <講習会参加費>

申込金：195 ユーロ

受講料：598 ユーロ

通訳料：180 ユーロ(希望者のみ)

※ 通訳を希望された場合はこちらで音楽を専門にした日本人の通訳を手配いたします。

※ 通訳を希望しない場合でも受講時に教授の判断で必要となる場合があります。その場合、通訳費用は現地にて現金(ユーロ)でお支払いいただきます。

※ レッスン受講者は原則として全てのレッスンが無料で聴講可能です。15 歳以下の参加者の付添者はご自身のお子さんのレッスンのみ無料で聴講可能です。その他の場合の聴講料については別途お問合せください。

※ 申込金、受講料、通訳料はご請求発行時の当社規定レートにて、日本円でご請求いたします。

例)1 ユーロ 165.00 円(2025 年 3 月 1 日レート)で換算の場合

申込金　￥32,175　受講料　¥98,670　通訳料　¥29,700

## <渡航費用> ※成田(または羽田)空港発着便を基準とした費用になります

**第１ブロック：５２５，０００円**
**第２ブロック：５３０，０００円**
**第３ブロック：４８０，０００円**
**第４ブロック：５３０，０００円**
**指揮者コース：４５０，０００円**

【渡航費用に含まれるもの】

1) ホテル宿泊代金 (第 1 は10 泊分、第2は11泊分、第 3 は6泊分、第 4 は11泊分、指揮は5泊全て朝食付)
2) 往復航空券代金
3) 平日の夕食代金
4) 現地空港からホテルまでの交通費
5) 現地事務局員諸経費
6) 海外送金手数料

【渡航費用に含まれないもの】

上記以外の費用は渡航費用に含まれません。費用に含まれない主なものは次のとおりです。

1) 事務手続き代金　22,000 円
2) 航空券手配に伴う諸費用(燃油代金、国内空港使用料等、航空保険料、現地国際空港税) 約 100, 000
3) マスタークラス申込金および受講費、聴講費、通訳料
4) レッスン受講時の移動にかかる交通費
5) 夕食時の飲み物代金
6) 昼食代金
7) 週末(土・日)の夕食代金
8) 自由行動中にかかる費用

※ シングルルームをご希望の場合には、別途 75,000 円を追加費用として申し受けます。部屋数に限りがありますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。(第3ブロックは 50,000 円の追加費用となります。)
なお、ツインルームでのご案内となった 場合の部屋割は弊社に一任いただきます。ご友人同士でお申込みの場合等同室希望者がいる場合は事前にお知らせください。

※ 航空券はご自身でお手配いただくことも可能です。その場合は渡航費用から第1ブロック・指揮者コースは170,000円、第 2 ブロックは 170,000　円、第 3 ブロックは 150,000 円、第 4 ブロックは 150,000 円を減額いたします。

※ 航空会社燃油代金につきましては、燃油の高騰等にともない金額の変更がある場合がございます。その場合には差額分を別途ご負担いただくこととなりますので、予めご承知おきください。

※ウィーン渡航業務に関しては、東京国際芸術協会より旅行会社㈱東京国際ツアーズに委託いたします。そのため、渡航手続き関連で必要な個人情報を同社と共有いたします。また、手続き関連の確認で㈱東京国際ツアーズより直接ご連絡をさせていただきます。予めご了承ください。

株式会社東京国際ツアーズ　観光庁長官登録旅行業 1353 号 （社）日本旅行業協会正会員
〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301
TEL 03-6806-7820　FAX 03-3806-8556　master@ti-tours.com

## <渡航日程>

指揮者コース：**２０２５年８月　３日（日）日本発～８月１０日（日）**日本着（8/9 現地出発） 8 日間
第１ブロック：**２０２５年８月　４日（月）日本発～８月１６日（土）**日本着（8/15 現地出発）13 日間
第２ブロック：**２０２５年８月１６日（土）日本発～８月２９日（金）**日本着（8/28 現地出発）14 日間
第３ブロック：**２０２５年８月３０日（土）日本発～９月　７日（日）**日本着（9/6 現地出発） 9 日間
第４ブロック：**２０２５年９月　６日（土）日本発～９月１９日（金）**日本着（9/18 現地出発）14 日間

## <申込締切日>

指揮者コース：**２０２５年５月２１日（水）17:00 必着**
第１ブロック：**２０２５年５月２１日（水）17:00 必着**
第２ブロック：**２０２５年６月　４日（水）17:00 必着**
第３ブロック：**２０２５年６月１８日（水）17:00 必着**
第４ブロック：**２０２５年６月２５日（水）17:00 必着**

※ご自身で航空券を手配される場合には以下の日程まで申し込みを受け付けます
指揮者コース：**２０２５年６月　１１日（水）17:00 必着**
第１ブロック：**２０２５年６月　１１日（水）17:00 必着**
第２ブロック：**２０２５年６月　２５日（水）17:00 必着**
第３ブロック：**２０２５年７月　１６日（水）17:00 必着**
第４ブロック：**２０２５年７月　２３日（水）17:00 必着**

## <ウィーン国立音楽大学受験を希望する方々へ>

ウィーン・ムジークセミナー開催期間中に、ウィーン国立音楽大学に留学を希望する方々を対象とした受験ガイダンスを行います。留学を決めている方はもちろん、まだ留学をするかどうか迷っている方も、このセミナーにご参加いただければ、ウィーンの留学現地事情をご理解いただけます。
※ ガイダンス時には日本語版の留学資料もお渡しします。

♪受験ガイダンス内容

1.ウィーン国立音楽大学 2026 年新年度の入試受験曲案内
2.受験の際のドイツ語テストについての案内
3.受験の際の楽典試験の内容と対策
（毎年出題パターンがおおよそ決まっているため参考資料をもとにご説明）
4.ウィーンの生活
（長期滞在に必要となるオーストリアが発給するビザについての説明も含む）
5.保険(病院などへかかる場合に必要な保険について)
6.銀行口座の開設
7.住まい(家)探し
8.ピアノレンタル
9.電話インターネットの接続等の案内
10.他個別質問にも回答いたします
※参加人数が多数の場合、実際に留学をしている方、または最近まで留学生として学生だった方をゲストとしてお招きして実際の体験談をお話しいただきます。

参加希望の方は申込フォーム内の「受験ガイダンス」欄の「参加」をお選びください。
※参加費は 65 ユーロ(10,725 円,905 円※1 ユーロ 165.00 円で換算・2025 年 3 月 1 日レートです。)
※参加費のお支払い金額は締切時のレートで計算しますのでレートに上記費用が変動になる可能性がございます。
※申込は現地でも可能です。その場合費用は現地払いとなります。

## <修了証>

コース終了後にディプロマ(受講者)またはコース参加証(聴講者)をお渡しいたします。

## <申込方法>

お申込金(内金)として 50,000 円を以下の口座にお振り込みの上、HP または募集要項巻末の申込フォームからお申込みください。パスポートコピー、振込明細書(お客様控え)のコピーを申込フォームに記載の URL からアップロードもしくは協会事務局メールアドレスまで添付にてご提出下さい。

※パスポートを取得予定の方はその旨を申込フォームに記載のうえ、取得後速やかにコピーをご提出ください。

【お申込金振込先口座】　城北信用金庫　本店営業部　普通口座 6256426　㈱東京国際ツアーズ

## <キャンセルについて>

原則としてお申込後のキャンセルはお受けできません。やむを得ずキャンセルの場合には取消料として事務手数料 22,000 円と講習会申込金 195 ユーロを申し受けます。また、各日程申込締切日以降のキャンセルにつきましては、さらに受講費用の 100%を申し受けます。渡航費用に対しては、ご出発 40 日前より所定の取消料を申し受けます。

なお、本マスタークラスにおいてはお申込と同時に航空券手配をいたします。そのため、お申込後のキャンセルの場合、航空会社の定める取消し手数料を別途申し受けます

また、新型コロナウィルス感染症の影響により、渡航が困難な状況であると判断した場合(日本政府による渡航禁止令、オーストリア政府による入国拒否等、政府による渡航制限が課された場合)には、ご案内を中止いたします。その場合、納入された費用は全額お返しいたします。

## <その他>

※ このマスタークラスでは次のコンクール・オーディションにおいて成績優秀者に学費免除推薦が認められています。

このマスタークラスでは次のコンクール・オーディションにおいて成績優秀者に学費免除推薦が認められています。

- 2023 年 6 月～2025 年 5 月までに弊会主催コンクールにて入賞・入選した方、新人演奏会オーディションにて合格・准合格された方
- 2023 年夏期～2025 年夏期海外音楽大学派遣助成オーディションにて合格・准合格された方

※ 航空券は自己手配することも可能です。その際はその旨を申込用紙にご記入ください。自己手配された場合の集合場所は宿泊先ホテルとなります。なお、**ご自身で手配した飛行機の遅延等によって、予定されているレッスンに間に合わない場合等の責任は一切負いません(受講費・ホテル代金等の返金はありません)。**

※ 宿泊先の自己手配はできません。こちらが指定した宿泊施設のみとなります。

※ 練習場所は基本的にホテル内の練習室となります。

※《ウィーンについて》ウィーンには美術館、コンサートホールなどが多数あり、文化的な催しが多く開催されています。2024 年のイギリス・エコノミストの「世界で最も住みやすい都市」ランキングでは、ウィーンが3年連続の 1 位に選ばれています。 このランキングは生活の安全性、医療分野の発達、文化的レベル、教育の質、インフラの 5 項目より決定されており、ウィーンがいかに安全で生活しやすい街か、を示す指標となっています

## <説明会について>

当マスタークラス説明会を 5 月中旬頃にオンラインにて実施予定です。ご参加は事前予約制とし、日時の詳細はお申し込みをいただいた方へご案内いたします。参加をご希望の方は 5/2(金)までに info@tiaa-jp.com へメールでのお申し込みをお願いいたします。保護者様のご参加も可能です。

<イベント予定>（2025 年 3 月現在の予定です。今後変更となる場合があります）

※イベントに関する詳細・お問い合わせは、現地オリエンテーションにてご確認下さい。

**第1ブロック**

8/6（水）オープニングイベント
8/11（月）教授コンサート
8/10（日）ハイリゲンクロイツ・グーテンブルン城にて参加者コンサート
（参加費、交通費、チケット代、食事代等実費）
8/13（水）ディヒラー・コンクール
参加者コンサート
8/14（木）受賞者コンサート

**第2ブロック**

8/ 18（月）オープニングイベント
8/ 20（水）教授コンサート
8/ 23（土）ハイドン生誕の家にて参加者コンサート
（参加費、交通費、チケット代、食事代等実費）
8/26（火）ディヒラー・コンクール
参加者コンサート
8/27（水）受賞者コンサート

**第3ブロック**

9/1（月） オープニングイベント
9/3（水） ミュンヘンドルフにて参加者コンサート
（参加費、交通費、チケット代、食事代等実費）
9/4（木） ディヒラー・コンクール
参加者コンサート
9/5（金） 受賞者コンサート

**第4ブロック**

9/ 8（月） オープニングイベント
9/10（水） 教授コンサート
9/ 12（金） バーデン・ヒルデ・ワーグナー・キュンストラーハウスにて参加者コンサート
（参加費、交通費、チケット代、食事代等実費）
9/ 16（火）ディヒラー・コンクール
参加者コンサート
9/ 17（水）受賞者コンサート

※《ディヒラー・コンクール》マスタークラスが主催するコンクールでレッスン教授の推薦（各門下より 2 名程度）により参加が決定します。受講曲の中にウィーン古典派の楽曲があることが参加条件となります。詳細は現地オリエンテーションにて発表されます。

# 申込フォーム

指揮科

第 1 ブロック　　第 2 ブロック　　第 3 ブロック　　第 4 ブロック

# ウィーン国立音楽大学マスタークラス担当教授

## ピアノ教授：

### Helene BERGER　　エレーヌ・バーガー



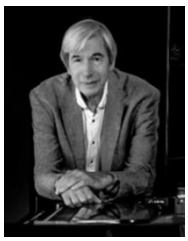
国際芸術コンクールの審査員、フランス祭のアートディレクターで作曲家。２０１９年に“Reborn”アルバムを作成。イッセー・レ・ムリノ音楽学校、ウィーン国立音楽大学教授。日本を始めロシア、イタリアなどの国際コンクールの一員である。Micheline Ostermeyer、Tatiana Nikolaeva、Aquiles Delle Vigne から学び、パリ音楽学校でディプロマを取得。数々の国際コンクールで優勝している。ソリストとしてパリのサル・ガヴォーコンサートホール、日本・ヴェトナム・シンガポール・イタリア・ドイツ・スペインなど世界中で音楽ツアーも行った。2011年からキャップフェレ音楽祭とアカデミーの創設者兼芸術監督、2013 年からレオポルド・ベラン国際コンクールの副会長を務めている。ピエール・プティは「彼女はフランスの希望」だと賞賛している。このとおりに彼女は今、ソリスト、作曲活動も成功を収め、数々の受賞もし、若い芸術家たちの才能を伸ばすために尽力をなど、精力的な活動もしている。

### Thomas KREUZBERGER トーマス・クロイツベルガー



ウィーン生まれ、ウィーン国立音大にて Hans Petermandl, Frieda Valenzi 氏に、大学院課程では A. Jenner and A. B. Michelangeli 氏に師事。ヨーロッパ、アメリカ、日本でコンサートを開催。現代の名手の作品に関心を寄せている。リスト、シューマン、Eröd の作品を収録した CD を出版。1993 年よりウィーン国立音大およびウィーン市立音大 concert-piano クラスの教授に就任。国際コンクールの審査員であり、日本やアメリカにてマスタークラスを実施している。

### Alexander RÖSSLER アレキサンダー・ロスラー



ウィーン国立音楽大学元教授。シュトゥットガルト、ミュンヘンにて K. H.ディール、R.ケラーに師事。フィレンツェの M.ティポより奨学金を受ける。ウィーン、ペルージャにて S.ノイハウスのマスタークラス受講。1981 年首席にて卒業。バルセロナコンクール優勝。ポーランドではシマノフスキー受賞記念メダルを授与された。1973 年以降、ソリストまたは著名なソリストの室内楽パートナーとしてヨーロッパや海外で多くのコンサートを行った。1990 年以降、ヨーロッパ、韓国、日本のマスタークラスを定期的に受け持つ。ピアノコンクール審査員。ラジオ出演や CD レコーディング（シューベルト、シューマン、ブラームス等）を行う。レパートリーはブラームスとベートーヴェンが中心となるが、ウィーンクラシック、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、スクリャービン、シマノフスキー、プロコフィエフも得意としている。現代作品ではジャズ、ブルース、自由即興が挙げられる。

### Jenny Soonjin KIM　ジェニー・スンジン・キム



ピアノとフォルテピアノの国際的な演奏家として名声を得ている。2022 年にソニーより“Eternal Beethoven”を 出し15の変奏曲やフーガのエロティカが収録されている。ダイナミックな演奏でバッハからシェンベルクまでの鍵盤作品をレコードに録音したり多彩なアーティストとして国際的に活動していて 2023 年にはウィーン交響楽団楽友協会とベートーヴェンのピアノ協奏曲を全曲演奏しました。韓国とウィーンの友好 130 周年を記念してウィーン楽友会黄金の間でショパンピアノ協奏曲 No. 1 in E minor, Op. 11 を演奏しています。音楽ジャーナリストのアントニー・ジャクボウスキーに彼女の高い技術力と同じようにパフォーマンスは独特で印象的なもので音楽の多様性、繊細さ、情緒豊かにそして詩的な部分をとても輝かしく表現したと賞賛している。カリフォルニア大学では音楽ビジネスと音楽管理の事業佳化の修士号を取得。ザルツブルグモーツァルテウム大学を卒業。現在は、クレアモント大学院で実践の助教授を務め、パフォーマンスフォーラムを指揮していて 2023 年からウィーンマスターコースの講師として招待を受けています。

### Bernhard PARZ ベルンハルト・パルツ



1993 年、14 歳でオーケストラとピアノコンチェルトを初共演以来、ウィーン交響楽団メンバーとの共演等、ソロピアニストとして国内外での演奏活動を開始。1997 年よりウィーン国立音楽大学、A.コックス、H.オスベルガーのもとで研鑽をつみ、 2001 年ウィーン国立音楽大学ピアノ学科のディプロマを最高点で取得。1999－2002 年、バードイシュル祝祭管弦楽団の首席ピアニスト。フェルドキルヒェン夏季国際セミナー、プラハ・ウィーン・ブタペスト夏季国際セミナーで講師を務める。現在、若手ソリスト、室内楽奏者、指導者としてヨーロッパ各地で活躍、高い評価をうけている。

### Raymond YOUNG レイモンド・ヤン



ボセンドルファー奏者、海南大学客員教授、香港舞台芸術アカデミー、香港バプテスト大学、香港中華大学のピアノ教授。 香港で最も有名な教師の 1 人として知られる彼の学生の多くは、欧米の音楽学校を率いて多数の国際大会で賞を受賞している。オーストリア、カナダ、イングランド、ドイツ、イタリア、韓国、マレーシア、ロシア、台湾、中国全土などでコンサートやマスタークラスを精力的に行っている。

### Manuel ARAUJO マニュエル・アラウージョ



同世代の中で最も将来が嘱望されるピアニストの 1 人。ロッテルダムのコダール大学にて Aquiles Delle Vigne に師事し、優秀な成績で卒業。パリの第 89 回レオポール・ベラン音楽コンクールで第一位を受賞。また、若いピアニストのためのコンクール「FundaçãoRotáriaPortuguesa」で満場一致で第一位を受賞。その後、17 歳でリスボンにてプロデビューを果たす。その他、ポルトガル、スペイン、フランス、イタリア、オランダ、日本、ベルギーでのコンクールで第一位を受賞した。.世界各国の著名なホールでの演奏経験を持ち、ソリストとして数多くのオーケストラや指揮者との共演を果たす。また、ロッテルダム音楽院、パリのスコラ・カントルムにて助教授を務めた他、日本や中国、台湾などでマスタークラスを開催。台湾国際ピアノアンサンブルコンクール、ビゼウ国際コンクール、ステイホーム国際ピアノコンクール 2020（イタリア）、フジャイラ国際ピアノコンクールではゲスト審査員を務めた。現在は、コインブラの「アキレス・デレ・ヴィーニュ国際音楽アカデミー」副芸術監督、教授、マネージング・ディレクターであり、コインブラ世界ピアノミーティングとサルドアル国際ピアノミーティングの芸術監督を務める。

### Sontraud SPEIDEL ゾントラウド・シュパイデル



カールスルーエ、フランクフルトのもとで学び、S・アスケナーゼ、ゲーザ・アンダのもとで更に研鑽を積む。数々の国際コンクール受賞。バッハ国際コンクール（ワシントン D.C.）優勝。ボストン交響楽団現代音楽部門ジャクソン賞受賞。オーケストラコンサートのソリストを始め、ソロコンサート、室内楽コンサート、フェスティバル参加で活躍。ヨーロッパ諸国、米国、カナダ、イスラエル、日本、韓国にてマスタークラスを行う。またラジオ出演やCD録音も行う。カールスルーエ音楽大学ピアノ教授。国際コンクールの審査員を務める。数年前からウィーン国立音楽大学マスタークラスで指導を続けている。

## Wolfgang WATZINGER ヴォルフガング・ヴァッツィンガー



ダルムシュタット生まれ。フライブルグとザルツブルグの音楽アカデミーで学ぶ。1971 年フランクフルトのドイツ音楽アカデミーコンクール優勝。1973～1974 年、フィラデルフィアカーティス音楽学校（ルドルフ・ゼルキン）をはじめ、ヨーロッパ諸国、アジア（香港と日本）、南アフリカ、USA でコンサートを開催する。デトモルド音楽アカデミーピアノ教授。1994 年以降はウィーン国立音楽大学ピアノ教授。1995 年、Konzerthaus Ein Vienna でデビュー。1995 年以降、ウィーン国立音楽大学マスタークラス教授。

## Elzbieta WIEDNER-ZAJAC エリツベタ・ヴィドナー・ツァヤック



ポーランドにてピアノを学び、その後米国にて G.サンダー、ウィーンにて D.ウェーバーに師事。ポーランド、米国、イタリア、スペイン（バルセロナ）のピアノコンクールに第一位の成績で決勝進出。受賞する。3 大陸コンサートツアー開催。多数の国際フェスティバル出演。ソロ演奏で8枚の CD をリリース。多数のラジオ、テレビ出演。1999 年以降作曲家としても活躍。米国、オーストリア、フェロー諸島にてマスタークラス講義とリサイタルを開催。1982 年以降ウィーン国立音楽大学ピアノ教授。2004 年、大学教授資格取得。Polonia Restituta 賞（1994）、科学・芸術部門オーストリア勲章（2000）等、数々の賞を受賞。レパートリーとして、古典、ロマン、印象主義が挙げられる。中でもショパン、パデレフスキー、レシェティツキー、シマノフスキー、タカクスのピアノ作品を得意としている。

## Vladimir KHARIN ウラジミール・カリン



モスクワ生まれ。6 歳よりモスクワ音楽院の英才教育コースでピアノを始める。モスクワ音楽院を卒業後、ドイツ・エッセンのフォルクヴァング芸術大学大学院へ進学、優秀な成績で同大学院を卒業。ドイツ、オーストリア、CIS 諸国、フランス、イタリア、日本、中国、インドネシアのコンサートホールより、国際コンクールの受賞者として、オーケストラとの共演、リサイタルや室内楽のために招待を受けている。ルール地方のピアノフェスティバルに数回出演し、ジョナサン・ダーリントンの指揮によるデュースブルク・フィルハーモニー管弦楽団との共演を果たす。2009 年からウィーン国立音楽大学で才能のある子ども達や若者へのピアノ指導を行っている。彼の生徒たちは、数多くの奨学金や国際コンクールで 1 位を受賞している。それらにはドイツのエトリンゲンでの国際コンクール 1 位（2020 年）、チェコ共和国のコンチェルティーノプラハ 1 位（2021 年）、2019 年モスクワで開催された若いミュージシャンのための XX コンペティション「くるみ割り人形」での黄金のくるみ割り人形賞、第 3 回モスクワ国際「ウラジミール・クライネフ」ピアノコンクール（2019）1 位、デンマークのアールフスで開催されたピアニストの国際コンテスト（2019）2 位および聴衆賞の受賞等を含む。教師としてのウラジミール・カリンの名前は、世界に広く知られている。審査員として招致される他、世界のさまざまな都市でマスタークラスの指導者として招待を受けている。

## Giuseppe MARIOTTI ジョセッペ・マリオッティ



1963 年イタリア生まれ、ウィーン音楽大学・芸術大学にてハンス・グラフにピアノを室内楽をゲオルク・エーベルトに師事。
ソリストとしてヨーロッパ、アメリカで活躍2003 年から徳島文理大学音楽学部客員教授勤め、2007年に学部長に就任。2008 年から 2010 年は神戸女子学院大学音楽学部客員教授勤めた。東京、大阪、ソウルでマスターコースを実施し、世界コンクールの審査員を勤めている。また、ベーゼンドルファー直属の特別ピアニストとして契約している。

## Johannes KROPFITSCH ヨハネス・クロプフィッチ



幼少期より巨匠ヴィルヘルム・ケンプの元でピアノの手ほどきを受け、5歳でクラーゲンフルト州立音楽院準備科に入学、ランガー・リュール教授の指導を受ける。15歳でヴィーン国立音楽大学に入学。ペーターマンドル、グラーフ、イェンナー各教授の元で学び、同大学を全教授一致の最優秀の成績で卒業。同時にネイガウス教授のマスタークラス入学も許可される。在学中よりオーストリア共和国主催の『青少年音楽コンクール』ではピアノ独奏、室内楽二重奏（妹エリザベートと共に）、三重奏で第一位を受賞。『セニガリア国際コンクール』の第一位、『フランス・パリで開催された『マルグリット・ローン国際コンクール』ではアレックス・ド・ヴリー賞、ヴィーン・ベーゼンドルファーコンクールの第一位という輝かしい経歴を持つ。青年時代より妹エリザベート、弟シュテファンと共に『ヴィーン・イェストリオ』を結成、世界各国で盛んに演奏活動を行っている。多忙な演奏活動と同時に教育者としても熱心に活動し、ウィーン国立音楽大学でグラーフ教授のアシスタントを務めた後、クラーゲンフルト州立音楽院教授、同音楽院国際セミナー教員を歴任、1998年よりヴィーン市立音楽院でピアノ科、伴奏ピアノ科の教授として後進の指導に当たっている

## Klaus STICKEN クラウス・シュティク



ハノーバーの音楽高校と劇場でコンラッド・マイスターとウラジミール・クライネフに師事する。また重要な指導者としてヴィタリー・マーグリス、ジョージ・セボック、アルフレッド・ブランデルが挙げられる。数々のコンクール（ブベー、アテネ、浜松）での成功により彼の国際的なキャリアが形作られた。彼の多様なレパートリーは数々のラジオレコーディングや CD 製作を反映している。2002 年から 2009 年にかけてベルリンの音楽高校「ハンス アイスラー」で指導し、2009 年からコンサバトリウムの教授に就いている。

## Franziska LEE フランチェスカ・リー



フランスの20世紀を代表する作曲家たちによる"L'HEURE EXQUISE"で最も期待されるピアニストとして CD デビューを果たした。2021年に2枚目の CD は"LONDON NIGHTS"20世紀を代表する欧米の作曲家たちをリリースする。「ダイナミックながら繊細な演奏」と BBC からも評価を得る。

## Milan FRANÈK ミラン・フラネック



ミラン・フラネックはマリア・コオルチョヴァのクラスで5歳からピアノを弾き始めた。世界中のマスターコースを指導し、フランツクラロヴェの教育学部、プラハの音楽学院でも教えその分野においてはとても秀でている教師である。2008年にはオスロのエドヴァルド・グリーク国際ピアノコンクール審査員を務めた。2019 年は香港園芸学院にて、2020 年にはマレーシアでバロック音楽リサイタルとしてマスターコースを指導。2010年よりヨーロッパピアノ教師協会（EPTA）のチェコの協会長を務めている。

## Jasminka STANCULS ヤスミンカ・スタンチェル



セルビア出身のオーストリア人のピアニスト。ウィーン音楽大学でノエル・フローレス教授に指示しました。彼女の音楽才能とベートーヴェンの音楽パフォーマンスの並外れた演奏力のより 1989 年ウィーン国際ベートーヴェンコンクールで優勝。ソリストとしてウィーン交響楽団、カメラータザルツブルグ、ロイヤル・フィルハーモニーオーケストラ、ボン・ベートーヴェン管弦楽団、ボーンマス・シンフォニー オーケストラ、東京交響楽団など世界中で勢力的に活躍しています。ダニエレ・ガッティ、ファビオ・ルイージ、ニコライ・アレクセーエフ、セミヨン・ビシュコフ、アダム・フィッシャー、ハンス・グラーフなどの著名な指揮者とも多く共演。2013 年よりスロベニアのリュブリャナ音楽院で教授を務めている。2019年にはウィーン音楽芸術大学で教授も務めている。

## 声楽教授：

### Sona GHAZARIAN ソーナ・ガツァリアン



ベイルート大学で心理学科卒業。最優秀の成績で声楽コースを修了する。国際的に名高いオペラハウス(ロンドン・コベントガーデン、パリ国立オペラハウス、ウィーン国立歌劇場、ミラノスカラ座、ニューヨーク・メトリポリタン歌劇場、カーネギーホール、ブエノスアイレス、日本、その他)で 70 以上のオペラに出演。カルロス・クライバー、コリン・デービス卿、H. B. カラヤン、ゲオルグ・ショルティ卿とリッカルド・ムーティ等著名な指揮者を共演、38 年間世界的なキャリアを積む。国際マスタークラスで指導、声楽の技術とオペラ解釈、リート、オラトリオに焦点をあてる。たぐいまれな功績で多数の賞を受賞。名誉歌手、芸術と科学の第一級金メダル受賞者としてオーストリア共和国から栄誉を与えられた。

### Jeffie LEUNG ジェフィ・ラン



ウィーン音楽セミナーの卒業生であり、受賞者でもあります。彼女はウィーン音楽セミナーに教授として招待された最初の中国人音楽家です。彼女は香港で生まれました。彼女は香港舞台芸術アカデミーと香港バプテスト大学で学びました。彼女はロンドンのトリニティ音楽大学 (FTCL) でフェローシップディプロマを取得しました。彼女は香港バプテスト大学の音楽学部で 20 年以上声楽を教えてきました。彼女はコンサートのソリストであり、数多くのオラトリオ、コンサート、レコーディングに出演しています。彼女は若い歌手を指導することでよく知られており、香港の YOUNGVOCALISTS の創設者でもあります。

### Victoria LOUKIANETZ ヴィクトリア・ルキアネッツ



1990 年グランプリ・モーツァルト・コンクール、民音コンクール(東京)、ベリーニ・コンクール(イタリア・カターニャ)、1991 年グランプリ・マリア・カラス・コンクールなど優勝歴多数。メトロポリタン歌劇場、スカラ座、バスティーユ歌劇場、モスクワ・ボリショイ劇場、新東京国立歌劇場等、世界中での多数の活動を行った後、2009 年よりウィーンのプライナー音楽院で教授を務めている。

### Brigitte STRADIOT ブリギッテ・ストラディオート



ルツェルン生まれのブリジット・ストラディオットは、ウィーン音楽舞台芸術大学でソロ歌唱と声楽教育学を学びました。さらにパリとサンフランシスコのオペラスタジオで勉強します。mdw ウィーンで音楽と運動教育・リトミックの修士号を取得。パリではウィリアム・クリスティ、ロンドンではジェシカ・キャッシュとともにバロック歌唱を専門とする。

ウィーン室内歌劇場とニース歌劇場で活動。エクス・アン・プロヴァンス音楽祭、ニースのプランタン音楽祭、アルルとマルセイユのバロック音楽祭での室内楽の夜。コンツェルトハウス、ウィーン楽友協会、リンツ、ブレゲンツのブルックナーハウスで現代音楽祭で 20 世紀のオーケストラと共演。国内外での歌謡リサイタル、ラジオ・テレビ収録多数。大学教授 ブリジット・ストラディオット准教授は、ウィーンの mdw にあるアントニオ・サリエリ研究所で歌を教えています。 歌の解釈に関する多数のマスタークラスは、バルセロナ、バレンシア、ポルト、ザグレブ、パルマ、フィレンツェ、ナポリ、ウーディネ、ナポリ、コペンハーゲン、ヘルシンキの音楽院にあなたを連れて行きます。

コンサート、展示会、文化イベントの企画と開催も活動分野です。2009 年、ウィーンの「ダス アンデレ ポディウム」と協力して「シュッテルドルファー アクセント」を設立。2019 年 mdw ウィーンの「文化管理およびキャリアセンター」と協力して「ステッテルドルフ聖霊降臨祭」を開催。

歌の教師としての仕事に対する喜びと熱意により、私はさまざまな専門家グループと出会うことができました。個性の表現としての声を促進することは、私の教育活動の中心的な課題です

### Ralf DÖRING ラルフ・ドューリング



ライプツィッヒ音楽大学卒業。ヨーロッパ、アジア、アフリカ、オーストラリア、米国にてコンサート、オペラに出演。ウィーン国立音楽大学教授。オーストリア、ドイツ、ベルギー、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、ポーランド、ハンガリー、エストニア等の欧州各国、トルコ、マレーシア、日本、韓国、台湾、香港、中国でマスタークラスを行う。弟子達は国際的な声楽コンクールで優勝(2005 年 11 月で 73 の賞を獲得)。また多くのオペラハウスやコンサートホールで演奏。日本、オーストリア、ベルギー(エリザベス女王杯)、スロバキア共和国(ルチア・ポップコンクール)等の国際声楽コンクール審査員。

### Lydia RATHKOLB リィディア・ラットコルブ



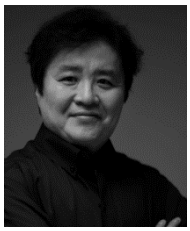
ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学および音楽院を卒業し、さらにミラノと KS S.ジュリナックで声楽を学ぶ。コロラトゥーラとして、夜の女王 Pamina、Constanze 、 Fiordiligi 、 Rosina 、 Norina、、La Traviata 等多くの主要な役割を担う。オペラハウスやウィーン、ソフィア、ニッツァ、ベルリン、リンカーンセンターニューヨークなどのコンサートホールでの公演経験を持つ。レパートリーは、モーツァルト、シュトラウス、ワーグナーからイタリア、ロシアの現代曲まで幅広く、多数の指揮者と共演している。私立ウィーン市立音楽大学でコロラトゥーラテクニックに関するワークショップを開催する他、ウィーン大学でテクニック、言語、呼吸法、精神的トレーニングに焦点をあてたレッスンを行っている。

### Hermine Haselböck ヘルミーネ·ハーゼルベック



オーストリアのメゾソプラノ歌手、ヘルミーネ・ハーゼルベックは、ウィーン国立音楽大学(MDW)でリタ・シュトライヒの指導の下、声楽の勉強を始めました。デトモルト音楽大学でインゲボルグ・ルスに指導を受け、芸術的卓越性と声楽教育法のディプロマを取得しました。熱心で経験豊富な声楽教育者であるヘルミーネ・ハーゼルベックは、2017 年から現在までグラーツ音楽演劇芸術大学 (KUG) の教員を務めている。2021 年には、声楽研究で名誉学位を取得し、ヴェニア・ドチェンディ賞を受賞した。2022 年から 2024 年までは、ウィーンの MDW で声楽の教授も務めた。彼女の教え子たちは、フェルッチョ・タリアヴィーニ声楽コンクール、ザルツブルク大声楽コンクール、ウィーンのヘルムート・ドイツ歌曲コンクールなどの国際コンクールで優秀な成績を収め、ウィーン国立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場、グラーツ歌劇場、デュッセルドルフ・ライン歌劇場、ザルツブルク音楽祭などの一流機関に招かれています。ヘルミーネ・ハーゼルベックは、革新的な教授法と豊富な教育経験を活かして、次世代の歌手を育て続けています。

### Lucio Kyuhee CHO ルシオ・キューヘー・チョー



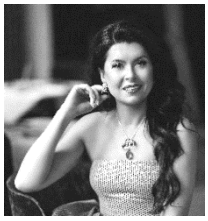
韓国の釜山生まれ。ウィーン国立音楽大学でクルト・エクウィルツとチャールズ・スペンサーに師事。ウィーン音楽院ではデイヴィッド・ラッツに支持する。アテネのマリア・カラス国際グランプリ、ロベルト・シューマン国際コンクール、フランシスコ・ビナス国際歌唱コンテスト、フランツ・シューベルト国際室内楽コンクールで優勝している。ニューヨークのアイスたりーホール、韓国国立オペラでバリトンでパフィーマンスしている。2006 年はウィーン音楽芸術学院の教授として2006 年からソウル国立大学、2020 年ソウル市立大学、2022年からソウルの中央大学校で教えている。

## Seung-wook Byun ビョン・スンウク



漢陽大学声楽科卒業。ヴェルディ音楽院、ヴェルチェッリ・アカデミア、パルマ・アカデミア修了。サヴィリアーノ国際コンクール優勝、ヴァルセージア・ヴィオッティ・コンクール受賞。ミラノ・スカラ座で「リゴレット」でデビューし、その後、ナブッコ、リゴレット、ラ・ボエーム、トゥーランドット、ランメルモールのルチア、オベルト、マスナディエーリなど 20 を超えるオペラの主役を、ヨーロッパ（イタリア、フランス、ドイツ、オーストリア、イギリス、スイス、デンマーク、ノルウェー、ルクセンブルク）やキューバなどで 120 回以上の公演で演じる。現在、韓国ソウルの国民大学音楽学部教授。中国の河南大学および山東師範大学の客員教授。

## Zoryana KUSHPLER　ソルヤーナ・クシュプラー



リヴィウ音楽院（Prof. I. Kushpler）で学び、その後ハンブルク 音楽大学（Prof J. Beckmann）で学ぶ。ミュンヘンで開催されたARD コンペティション優勝者、他国際コンペティションの勝者でもある。
2007 年から 2020 年までウィーン国立歌劇場のアンサンブル メンバーとして、ウルリカ（「仮面舞踏会」）、フェネーナ（「ナブッコ」）、オルガ（「オイゲン オネーギン」）、ポリーナ（「スペードの女王」）、マルチェリーナ（「フィガロの結婚」）、マグダレナ（「ニュルンベルクのマイスタージンガー」）、ヴァルトラウテ（「ゴッターダンメルング」）、プレツィオシージャ（「ラ フォルツァ デル デスティーノ」）、アデレード（「アラベラ」）、他多くの役を演じる。同年、 フォルクスオーパーのゲスト ソリストとなり、カルメン、プリンツ オルロフスキー（「こうもり」）、マグダレナ（「リゴレット」）、ジュリエッタ（「ホフマンの物語」）を定期的に演じている。また、リサイタル奏者として、双子の妹のオレナと共に、ラインガウ音楽祭、メクレンブルク フォアポンメルン音楽祭、ライツァーレ ハンブルク音楽祭、ベルリン コンツェルトハウス、ウィーン楽友協会など、多くの重要なリサイタル シリーズで歌っている。
2012 年、フランツ・ウェルザー＝メスト指揮クリーヴランド管弦楽団と G. マーラーの交響曲第 3 番のソロパートで全米デビュー。 2014 年、フランツ・ウェルザー=メスト指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とのベートーヴェン交響曲第 9 番でカーネギーホールにデビュー、ウィーン国立歌劇場で卓越したテノールのプラシド・ドミンゴの隣で「ナブッコ」でフェネーナの役を演じ、ロイヤル・アルバート・ホールでセミオン・ビシュコフ率いる「エレクトラ」。同年、フランツ・ウェルザー=メスト指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とのベートーヴェン交響曲第 9 番でカーネギーホールにデビューし、プリンツレーゲンテンシアター（ミュンヘン）で E.ヴォルフ=フェラーリのオペラ「グロビアーネの死」でマルガリータの役を演じた。彼女の創作活動はウクライナと密接に関係している。キエフのウクライナ国立歌劇場とオデッサ オペラ バレエ劇場でカルメンの役を繰り返し演じ、 2017 年と 2018 年には LvivMozArt フェスティバルに参加。 2017 年にはウクライナ国立歌劇場の 150 周年を記念して G. マーラーの交響曲第 2 番で演奏し、2018 年にはキエフのソフィースカ広場でのプロジェクト「私はウクライナに帰ります」に出演。 2016 年、彼女はウクライナの文化と芸術の分野で「今年の人」に選出。 2019 年以来、彼女はガリシア音楽協会の名誉会長を務めている。Zoryana Kushpler は、いくつかのラジオやテレビの制作に参加している。彼女の最新の CD リリースでは、歌はドミトリー ショスタコーヴィチ、テキストはマリーナ ズウェタイェワが客演している。2013 年にはドイツ グラモフォンとウィーン国立歌劇場、クリスチャン ティーレマンの指揮によるウィーン フィルハーモニー管弦楽団との共演でワーグナーの「ニーベルングの指環」の録音に参加している。2023 年秋、「グラモーラ」よりウクライナのアリアとオーケストラ曲を収録した新作 CD が発売予定。現在も引き続き、ウィーン国立歌劇場とウィーン フォルクスオーパーにゲスト ソリストとして出演。2023 年よりザルツブルクのモーツァルテウム大学の教授を務める。

## 声楽と舞台解釈教授

## Wolfgang Dosch　ヴォルフガング・ドッシュ



ウィーン出身のヴォルフガング・ドッシュは、トランペット、声楽、演技、オペラ演出、演劇学、音楽学、文化経営を学びオーストリア、ドイツ、スイスの主要劇場で 70 を超えるオペラ、オペレッタ、ミュージカルの演出も手掛け現代のオペレッタの最も評価の高い指揮者および専門家の一人です。
ウィーン国立音楽大学講師

## Barbara ZUBANOVIC--BARANOWSKA

## バーバラ・ツバノヴィッツ – バラノフスカ



ドイツ人のメゾソプラノ歌手。ポーランド生まれ。芸名はヘレナ・ツバノヴィッチ。カトヴィツェの音楽アカデミーにて音楽教育を受けた後、ハンブルグ音楽演劇学校にて学び声楽研究で優秀な成績を修めた。Ingrid Kremling, Kerstin Mayer 、Elio Battaglia, Brigitte Fassbaender, Teresa Zylis-Gara, Eva Blahová に師事。2019 年 10 月 1 日より、グラーツ音楽大学、声楽部門の教授に就任。2021 年夏のウィーンナームジークセミナーより Eva Blahová の後任を務める。A.Dvorak（カルロヴィ・ヴァリ）、Teatro Massimo（パレルモ）、Robert Stolz 国際オペレッタコンクール（ハンブルグ）、Mirjam Helin（ヘルシンキ）など、数多くの声楽コンクールで受賞した経歴を持つ。1993 年、ポーランドのビトム・シレジアオペラにてミミとしてデビュー。1999 年にメゾソプラノへ転向し、ストラヴィンスキーの「The Rake‘sProgress」の Türkenbab としてウィーン・フォルクスオーパーデビューを果たした。2013 年にはドヴォルザークの「Rusalka」の Jezybaba 役にてミュンヘン・バイエルン国立歌劇場デビューを果たし、2015 年にアンサンブルメンバーとなる。他にヤナーチェク「Jenufa」の Kostelnicka 役、プッチーニ「Il Tabarro」の Frugola 役、フンパーディンク「Hänsel und Gretel」の母親役を務める。ヘレナ・ツバノヴィッチはその他にも数多くの著名な劇場で多くのレパートリーを務めた。「Aida」の Amneris 役、「Il Trovatore」の Azucena 役、「Maskenball」の Ulrica 役 、Cavalleria Rusticana 」の Santuzza 役 、「 Il Triticco 」の La Principessa 役、Zia 役他多数あり。特筆すべきは、ジャンカルロ・デル・モナコ監督の「Flying Dutchma」が北京国立芸術センターで上演された際、Mary 役として中国初のワーグナー作品に参加したことである。また、彼女はコンサートシンガーとしての地位も確立している。モンペリエでのマーラー第 3 交響曲,マルメ（スウェーデン）、ポーゼン、チューリッヒでのヴェルディレクイエム、ワルシャワのベートーヴェンフェスティバルとGroßeFestspielhausSalzburgo でのマーラー「亡き子をしのぶ歌」、ベートーヴェン交響曲第 4 番においてアルトソロを歌唱した。ヘレナ・ツバノヴィッチはパレルモ・マッシモ歌劇場やマッシモ・ベッリーニ劇場、マエストランサ劇場、モンペリエ国立オペラ座、オスロ歌劇場、ザルツブルク祝祭大劇場、ブルノ国立劇場、その他多くの国際歌劇場において印象的なメゾソプラノ歌手としてオペラ公演を行い、キリル・ペトレンコ、シモーネ・ヤング、トーマス・ハヌスなど多くの有名指揮者と共演を果たしている。2016 年、ポズナン音楽院を卒業し、博士号を取得。ボーカルコーチとしてポズナンとシュチェチンの音楽アカデミーで指導にあたった。

## Annè-Marie CONDACSE　アンヌ・マリー・コンダセ



多彩なソプラノ歌手としてアメリカ、イタリア、フランス、メキシコ、エジプト、ウーマニア、イスラエルで活躍している。ウィーン生まれ。「the Artis Quartet of Vienna」の創設メンバーであり、1980 年より第 1 ヴァイオリン奏者を務める。ロンドンのウィグモア・ホールやクイーン・エリザベス・ホール、パリのサル・ガヴォー、ウィーンの楽友協会、ベルリンのフィルハーモニー、アムステルダムのコンセルトヘボウ、ニューヨークのメトロポリタン美術館、ワシントンのケネディセンター、東京のサントリーホール、北京のNCPA などヨーロッパ、アメリカ、アジアの各地における
フォーク音楽祭管弦楽団、ノイエス ウィーン室内管弦楽団とソロで共演経験を持つ。彼女の最近の CD「アンヌ・マリー・コンダセ・パフォーミング・チェンバー・ミュージック by フェリシア・ドンセアヌ」は、2007 年に Electrecord Records からリリースされました。アンヌ・マリー・コンダセは、ライス大学で声楽パフォーマンスの音楽修士号を取得し、ヒューストン大学で声楽科学と教育学の副専攻でパフォーマンスの音楽芸術博士号を取得しました。コンダセ博士は、オクラホマ州立大学の声楽学の助教授であり、同大学の国際関係学部の教員にも就任しています。

## 指揮者教授：

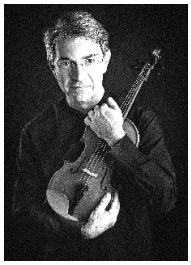
## Samuel Couffignal　サミュエル・クーフィニャル



若手指揮者のサミュエル・クーフィニャンは、フランスとオーストリアで音楽を学び、ヨーロッパ各地で数多くのマスタークラスに参加してきた。フランスでオーケストラ指揮、合唱指揮、ピアノを学んだ後、ウィーン音楽芸術アカデミー（MDW）のシメオン・ピロンコフの指揮クラスで腕を磨き、満場一致でオーケストラ指揮のマイスター・ディプロマを取得。

## ヴァイオリン教授：

### Peter SCHUHMAYER ピーター・シューマイヤー



ウィーン生まれ。「the Artis Quartet of Vienna」の創設メンバーであり、1980 年より第 1 ヴァイオリン奏者を務める。ロンドンのウィグモア・ホールやクイーン・エリザベス・ホール、パリのサル・ガヴォー、ウィーンの楽友協会、ベルリンのフィルハーモニー、アムステルダムのコンセルトヘボウ、ニューヨークのメトロポリタン美術館、ワシントンのケネディセンター、東京のサントリーホール、北京の NCPA などヨーロッパ、アメリカ、アジアの各地における著名なホールでの公演経験を持つ。

40 枚以上の CD を録音し、エコー クラシック、グランプリ デュ ディスク、ディアパソン ドール、カエシリア賞、インディー アワード、ウィーン フレーテヌール、ミデム クラシカル アワードなどの国際的な賞を受賞。また、ニューヨーク市でのシーズン最高の室内楽演奏に与えられるリュリー賞を受賞。1996 年、ウィーン国立音大教授の室内楽およびヴァイオリン教授に就任。 1993 年から 1998 年までグラーツ音楽大学にて室内楽の客員教授を務める。彼の生徒たちは国際的なオーケストラメンバーとして活躍し、世界各国のコンクールで入賞を果たしている。ポーランドのシマノフスキ、チェコのプラハの春など国際コンペティションの審査員でもある。フランス国立イルルド管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、ウィーン楽友協会管弦楽団、ノーフォーク音楽祭管弦楽団、ノイエス ウィーン室内管弦楽団とソロで共演経験を持つ。

### Eugeniy CHEVKENOV エフゲニー・チェフケノフ



プロブジフ(ブルガリア)に生まれる。2000 年に自身の演奏家としての類稀な業績によりオーストリアの名誉市民権を受けている。同年にウィーンの「ギュスターブ マーラー音楽学校」でヴァイオリン教授となり、2012 年からは副学長に就任する。35 の国々でカーネギーホール、ウィーンの学友協会やコンツェルトハウス、大阪シンフォニーホール、東京メトロポリタンアートセンター、メキシコシティのベジャス・アルテス宮殿といった一流のホールでコンサートを開催している。

### Elisabeth KROPFITSCH エリザベス・クロプフィッチ



2011 年 10 月よりウィーン国立音楽大学教授に就任。ウォルフガング・シュナイダーハンに師事。長年アイゼンシュタットのハイドン音楽院で教鞭をとる。国際的な演奏活動を行う一方 EMI・フンガロトンから CD をリリース。愛器は1751 年製作のガダニーニ”d’Elia 1751”。

### Alexander ARENKOW アレキサンダー・アレンコフ



モスクワ音楽院にてダヴィッド・オイストラフのもと学ぶ。学位を授与された後も4年間、D.オイストラフもとで学び博士号修得。カルテットを R.ドゥビンスキーに師事。ポーランド・ウィエニアフスキーコンクール受賞。グリンカ弦楽四重奏曲を創立、リエージュ(ベルギー)国際コンクールで優勝する。名高いカルテットの第一ヴァイオリン奏者を務める。ヨーロッパ諸国で数多くのコンサート開催。1981 年、ウィーンに移住。ウィーン国立音楽大学のヴァイオリン教授として招かれる。オーストリア、スウェーデン、日本、韓国、ルーマニア、ロシアで多くのマスタークラス指導。イタリアでのロドルフォ Lipizer ヴァイオリンコンクール、スペインでのパブロ・サラサーテコンクールその他の審査員としても活躍している。

### Anna GUTOWSKA アンナ・グトヴスカ



ジェシュフ生まれ、スイスのローザンヌ音楽院にて J. Jaquerod 教授の指導を受け、同院を優秀な成績で卒業。その後、ウィーン国立音楽大学にて、Edward Zienkowski 教授に指示。修士課程および大学院課程を修了。フェルモでの「Andrea Postacchini」ヴァイオリンコンクール、トロンハイムでの国際室内楽コンクール、グダニスクでのバルト国際ヴァイオリンコンペ、大阪での国際音楽コンクールなど、国内外のコンペティションでの受賞経歴を持つ。 T. Wojciechowski、T。Strugala、M。Dworzynski、Jose Maria Florencio Jr.、J。Maksymiuk、P。Wajrak、P。Chromcak のような著名な指揮者の下で、一流オーケストラのソリストとして活躍。 2012 年より Edward Zienkowski 教授のアシスタントを務める。ポーランド、スロバキア、イラン、そして 2016 年よりウィーン国立音楽大学で教鞭をふるっている。

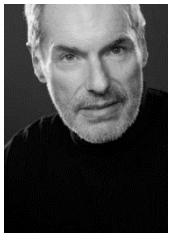
### Edward ZIENKOWSKI エドワード・ツィエンコフスキー



ポーランドのルブリンに生まれ、ポーランドとドイツで学んだ。多数の国際コンクールで受賞。1981 年以降ソロとしてヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏活動を行い、有名なヴァイオリンコンサートでの演奏を収録した。彼のレパートリーは、バッハから現代の作曲家の作品まで幅広い。1979 年から 82 年までベルリンフィルハーモニー管弦楽団のメンバーであり、1982 年から 92 年は WDR Koln のコンサートマスターを務めた。1985 年以降はバイロイト音楽祭にてオーケストラのコンサートマスターを務め、1992 年からウィーン国立音楽大学で教授、そしてバイオリンコンサートクラス主任となる。

## ヴィオラ教授：室内音楽教授

### Wolfgang KLOS ヴォルフガング・クロス



1953 年ウィーン(オーストリア)生まれ。1977 年、最優秀の成績でウィーン国立音楽大学を卒業。1971 年、Theresianische アカデミー高校在学時レベルAに合格、ウィーン国立音楽大学にて学び、また法律も同時に学んだ。師事していたエルンスト・クシェネクとマックス・ロスタールとの出会いは彼の芸術性的な発展に非常に大きな影響を与えた。多数のコンクールでソリストとして受賞、また室内楽奏者、オーケストラ団員として文化面、また教育面でも活躍した。1975～77 年ウィーン交響楽団員、1977～81 年チューリッヒ・トーンハーレ交響楽団ヴィオラ・ソリスト、1981～89 年ウィーン交響楽団ヴィオラ・ソリスト。1977～89 年フォアアールベルグ州立音楽大学教授。1984～89 年、ウィーン国立音楽大学ヴィオラ非常勤講師、1989 年同大学教授となる。しかしながら芸術活動の中心は室内楽に置いている。1981 年以降ウィーン・ストリング・トリオのメンバーとなり数々の賞を獲得。演奏家として国際的に活躍し、多数コンサートだけでなく、テレビ番組への出演やレコーディングを行った。ソリストとしてヨーロッパ、海外、極東でウィーンスタイル音楽の代表として名声を高めた。また国際コンクールの審査員、マスタークラス指導員、講演、専門ジャーナルの著者としても活躍する。1972～77 年生徒代表、1978～81 年オーケストラ顧問委員会メンバー、1991～2002 年弦部門代表、2002 年以降ウィーン国立音楽大学弦楽器主任。2003 年、オーストリア共和国より名誉勲章受賞。

## チェロ教授：

### Claudia SALLAGAR クラウディア・サラガー



ウィーン生まれ。チェリスト、チェロ教師、音楽の才能のコーチ。ヨーゼフ・ルイッツ、ヴォルフガング・ヘルツァー、ヒルトガンド・ポッシュ、ハーベイ・シャピロ、アルト・ノラス、ヴァルター・デスパリ、オルフェオ・マンドッツィの各氏に師事。MDW(ウィーン音楽大学)でチェロを教えている他、いくつかのウィーンの音楽学校のディレクターも務める。ソリスト、アンサンブルプレーヤー、およびオーケストラチェリストとして、過去 30 年間にわたって世界中でテレビ出演を行い、アンサンブルロンドウィーン、ウィーンオペラボールオーケストラ、ウィーンチェロデュエットなど、幅広いパフォーマンスを披露している。またプリマラムジカの審査員も務める。マスタークラスの目的は、レッスン曲の音楽的発展に加えて、現在の演奏と目指すべき演奏を探ることにより受講生の可能性を引き出すことである。これまでの演奏スタイルの微調整に焦点を当て、受講生のステージプレゼンス、外観、および入学試験への取り組み方法の強化について指導を行う。

Anzél GERBER アンツェル・ゲルバー



数々の国際コンクールにて受賞経歴を持ち、その表現力豊かな音と技術力が観客を魅了するとの高い評価を得ている。モスクワ音楽院に在籍、ゴールドスミスカレッジでのチェロ演奏における博士号の取得、ロンドン大学（イギリス）、テンプル大学（アメリカ）での研究を通じ、講師として、そして研究者として演奏分野における経験を持つ。また、研究分野においては若い才能のあるチェロ奏者に関する内容を中心とする。カーネギーホール、ラフマニノフホール、モスクワマールイ劇場、ウィーン楽友協会、クレモナ“ヴァイオリン博物館”内の講堂など国際的に有名なステージで意欲的に演奏活動を行っている。 また、ソリストとして Carlos Izcaray、Gérard Korsten、篠崎靖男、Guido Ajmone-Marsanなどの指揮者との協演経験を持つ。クレモナのヴァイオリンメーカー Giorgio Grisales によって製作された Gagliano cello のコピーを使用している。

## フルート教授：

Barbara GISLER-HAASE バーバラ・ギーズラー・ハーゼ



ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学にてフルートを学び首席で卒業。在学中から数々のオーストリア若手アーティストコンクールで優勝。室内楽コンクールではユーラシア・カルテットのメンバーとして受賞。1974 年、プラハ国際フルートコンクールで受賞。同年、ウィーン音楽大学で教員を始め、ソロやアンサンブル（フルートとギター、フルートとチェロとピアノ等）でコンサートを開催する。1983 年、コントラバスからピッコロ・フルートまでを含む珍しいアンサンブルを結成しCDをリリース、ラジオやテレビにも出演。またイスラエル、エジプト、トルコ、イラン、インド、台湾、韓国、南アメリカ、ヨーロッパ諸国等、世界中でコンサートを行う。1984～85 年、フルート製造に関する研究プロジェクトでも主要な立場となる。毎年、特別マスターコースを開催。現在はウィーン国立音楽大学教授。

Fereshteh RAHBARI フェレシュテフ・ラフバリ



ウィーン音楽大学教員でウィーン音楽学校教授。1983 年創立のウィーン・フルート奏団メンバー。数多くのラジオやテレビに出演する他 CD もリリース。ヨーロッパ及びアジア圏でコンサートを開催。テヘラン国立音楽大学とウィーン国立音楽大学でフルート、フルート教授法、管楽器のための呼吸法を学ぶ。

Erwin KLAMBAUER エルヴィン・クラムバウアー



リンツ・アントン・ブルックナー大学とウィーン音楽大学にてウォルフガング・シュルツに師事。1993 年から2013 年までウィーン放送交響楽団の首席フルート奏者、2014 年からウィーンシンフォニカーの首席フルート奏者。ヨーロッパ、アメリカ、アジアでマスタークラスを担当。2004 年から 2008 年までウィーンコンセルバトリー教授。2008 年からグラーツ音楽大学教授を務める。

Ting-wei CHEN ティン - ウェイ・チェン



1990年台北生まれオスロフィルハーモニー管弦楽団のソリスト、ウィーン楽友会、ロンドンのロイヤルアルバートホールやニューヨークのカーネギーホールで演奏。ブタペスト国際コンクール、フレードリヒ・クーラウフルート国際コンクール、ブルガリア音楽国際コンクールで1位となっている。2020 年より音楽舞台芸術大学のコンサートスタディで講義をしている。

Andrea WILD アンドレア・ワイルド



1966 年ウィーン生まれの世界的フルーティストで教育者のアンドレア・ワイルドは、音楽家の家庭に育ち、幼い 頃からフルートを習った。ウィーン市立音楽院でゴットフリート・ヘヒトルに、また、ウィーン国立音楽大学で 元ウィーンフィル首席ヴォルフガング・シュルツに師事し、優秀な成績で卒業する。演奏家としても、ウィーン国 立歌劇場舞台上オーケストラに所属し、ソリストや室内楽奏者として、古典的なレパートリーから現代音楽や前 衛音楽まで、さまざまな編成、スタイルで観客を魅了してきた。しかし彼女の興味は、演奏だけに止まらず、演 奏家が舞台で直面する恐怖に打ち勝つ方法を確立することだった。そのために、姿勢などのボディワーク、痛み やストレス予防、メンタルトレーニングなどをミックスし、マインド・ボディバランス・ツール（M.B.T.）を確 立。これらを生徒の指導に用いる事で、活気が満ち、やる気を起こさせる生徒は、楽譜を学ぶだけではな く、楽譜の行間を読み、リラックスして、演奏を弾けるように指導を行っている。
ウィーン私立音楽芸術大学教授

## クラリネット教授／サックス教授：

Kurt SCHMID クルト・シュミット



ウィーン生まれ、R・イェッテルのもとウィーン大学で学ぶ。1963 年より NTO のクラリネットソリスト。1969 年より Viennese music にて勤める。1970 年より指導経験を積み、1974 年ウィーン音楽セミナー教授となる。1986 年以降、作曲に焦点をあて、1993 年、ウィーンクラリネットオーケストラの芸術監督、指揮者となる。またオーストリア、日本、韓国でもマスタークラスを受け持つ。1996 年よりウィーン音楽セミナーの芸術部門副代表。1999 年より交響楽団オラデアのディレクター、指揮者となる。2002 年よりルガンスク・フィルハーモニック・オーケストラ芸術監督、正指揮者。2003 年よりルガンスク音楽大学教授。2004 年 3 月から、ルガンスク音楽大学にて名誉博士となる。

Kurt Franz SCHMID クルト・フランツ・シュミット



J・M・ハウアー音楽大学で教授を行う。“Zemlinsky Quintet Vienna”と“ Collegium Viennense”の創立メンバー。1977 年以降ウィーンフォークミュージックにおいて“Wiener Terzett”で活躍、また 1996 年以降はGクラリネットにおいて多くのコンサートに出演。コンサート、ソロ演奏、クラリネットクィンテットで数多くのラジオ、テレビ番組、CD収録した。1977 年以降、ウィーンの学校で芸術教育を行い、1995 年以降ヨーロッパやアジアでマスタークラスを行っている。現在ウィーン国立音楽大学にてR・イェッテルとペーター・シュミードルと共に研究を行っている。


**＜お問い合わせ・お申し込み先＞**
**一般社団法人　東京国際芸術協会**
〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301
TEL 03-6806-7108　FAX 03-3806-8555
http://www.tiaa-jp.com　E-mail:info@tiaa-jp.com